

使っている花 ■ マム(イグニス、セイロッサ)カンガルーポー、パンパスグラス、グレビレア・バイレアナ

11月
November



マム

花言葉

高貴／あなたを愛します

晩秋のテーブルを彩る
シックで豊潤なオータムカラー

プロが伝授! 花を長く楽しむアドバイス

- 花散りしていない、葉もフレッシュなものを選びましょう。
- 水道水でも十分日持ちしますが、切り花栄養剤を使うと色鮮やかに大きく咲きます。
- 下葉が水に浸からないよう取り除き、水替えをこまめにするなど手入れがよければ、1ヶ月間以上楽しめます。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ①色がグラデーションする濃色のマムを2種類選びます。器の高さよりやや長めにカットし、水に浸かる部分の下葉を丁寧に取り除きます。
- ②カンガルーポーを小枝でカットし、マムと一緒に軽く持ちます。カンガルーポーのユニークな花の動きがアクセントになるよう、マムから飛び出すように束ねましょう。
- ③そのまま器にあしらひ、マムの花顔が横並びにならないよう凹凸をつけます。そのままドライフラワーになる流行りのパンパスグラスやグレビレアを器のまわりにあしらえば、さらに秋らしい演出に!

11月6日は「いいマムの日」

マムとは「菊」の英名「Chrysanthemum」の略で、“黄金の花”という意味。スプレータイプ、一輪咲きのディスバッドタイプが出回ります。ダリアと見紛うほどのゴージャスなデコラ咲き、愛らしいポンポン咲き、粹な古典菊もリバイバルして、晩秋は和洋折衷の多彩なマムを楽しめる季節。こっくりした色合いも多く、秋らしさを満喫できます。

